

第13Gレポート⑦ 2011月7月9日(土) 筆:昨日に引き続き石坂

タイトル「最後の記念撮影・・・復興の道のりはまだまだ長い」

今日が業務最終日、いつものように本部の方に見送られバスに乗りこみます。

瓦礫の山が来たときと同じように積まれたままになっています。なにげなくバスの中から見ているこの光景を、見慣れてしまっはいけないと思いました。



朝一の仕事、健康福祉課のメンバーは軍手とヘルメット、スプレー缶でパーキングのナンバリング。ちょっとしたミスも、山田町の地面に律儀に謝罪。



続きましてカケヤを振りあげ杭を打つ女性陣、関山指導員の熱心な指導の下、カケヤを打つが・・・〇〇さん腰が入っていません。



只今の気温は 35.8℃です。汗だくになりながら午後は全員で仮設住宅の入居説明会資料のセットアップを行いました。

大島さんのセットアップの早いこと早いこと、大島さんにセットアップの講義を受けてから、みんなスピードが大幅にあがりました。



建設課の支援を行った自治労第 13 グループは池田町の加藤さんに引き継ぎを行った後、山田町役場前にて最後の記念撮影を行いました。

私たち自治労の支援はこれで終わりますが、東北の復興の道のりはまだまだ長いです。自衛隊、警察、消防、ボランティアの方々のことはメディアで取り上げられますが、その影で地元の職員の皆さんたちが一生懸命がんばっています。これからも本当にがんばってほしいと思います。